

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	先進的ケア・ネットワーク開発 研究分野
学籍番号		院生氏名	泉 洋枝
通学キャンパス			
論文題目	居宅支援事業所のケアマネジャーの自立支援に対する意識と ケアマネジメントの実践から浮かび上がる課題に関する研究		
審査結果 (枠で囲む)	<input checked="" type="checkbox"/> 合格		不合格
<p><審査結果の要旨></p> <p>1. 主論文について</p> <p>1) 研究概要および研究方法</p> <p>本研究は、居宅支援事業所に所属するケアマネジャーのケアマネジメントにおける実践と要介護高齢者に対する自立支援の考え方から課題を明らかにし、ケアマネジメントに必要な知識や技術に関する示唆を得ることを目的としたものである。調査1は居宅支援事業所のケアマネジャー2552名を対象にしたアンケート調査を行い、調査2はケアマネジャー10名を対象に半構造化面接を行なった。19の最上位カテゴリと42の上位カテゴリが抽出された。要介護高齢者の身体的機能を優先に捉えながら、精神的機能と社会的機能のバランスを保ち、そのうえで家族支援と在宅継続支援を柱とする支援が「自立支援」の要であることが明らかとなった。本研究は国際医療福祉大学倫理審査委員会の審査にて承認(15-Ig-60)を得て実施された。</p> <p>2) 研究の新規性と価値</p> <p>本研究の新規性は、「自立支援」の実現の重要度が高まるなかでケアマネジャーの資質向上が課題であると位置づけ、居宅支援事業所に所属するケアマネジャーがケアマネジメントにおける自立支援に対する組織的で体系的な方法論の構築を目指し、ケアマネジャーを対象に実態調査を行ったことである。ケアマネジャーの役割を明確化し、要介護高齢者の自立支援のあり方を明らかにしたことは介護レベルの向上に貢献する研究として高く評価できる。</p> <p>2. 審査経過について</p> <p>審査会は2回開催し、論文の構成、方法と結果・考察の整合性、統計分析結果の記載内容、誤字脱字等について論文の修正を求めたところ適切に修正された。</p> <p>3. 口頭試問の結果</p> <p>平成28年12月2日、東京青山キャンパスにおいて、本研究の意義および調査結果に関する口頭試問に対し適切に応答した。</p> <p>4. 合否の結果</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士(介護福祉・ケアマネジメント学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	主 査	山本 康弘	
	副 査	佐藤 みつ子	
	副 査	望月 秀樹	